

〈資料紹介〉

養鷗徹定制作 「法隆寺金堂壁画」

山梨県塩山市の放光寺には、養鷗徹定(一八一四—一八九二)が制作させた、法隆寺金堂壁画の模写が蔵される。この模写は、現存する法隆寺金堂壁画模写では最も古いものと思われ、ここにその概要を紹介したい。

嘉永五年(一八五二)、徹定は奈良・法隆寺に赴いて古写経を探查、その際、金堂壁画の考証記として「法隆寺金堂壁画佛像記」なる記録を残した。

同記によれば、徹定は法隆寺に於いて、侍者・祐参に西壁「阿弥陀浄土变相図」(第六壁)を模写させたことが知られる。現在放光寺に蔵される阿弥陀三尊図がこの模写である。<sup>1)</sup>

現状は三幅対の掛幅として仕立てられている。裏面には徹定の筆で

此幅和州法隆寺金堂

西壁所畫而、為 皇国

凶像之祖也、慈相端嚴、

古稚不可言也今茲丁

卯春晚菘真下翁將供

鞭五百羅漢像於甲州

放光寺、余感喜之餘、寄

贈之、以永充其本尊云

皆

慶應三年丁卯仲昏

佛眼山第四十五世

竺徹定識

との記事が記される。

文中に見える真下晚菘(一七九九—一八七五)とは、目黒の五百羅漢堂の羅漢像に心酔し、五百羅漢画像をもつて放光寺に羅漢堂を建立しようとする、二百二十幅(現存分、うち百四十は未表装)の五百羅漢像の画幅を放光寺に寄贈した人物である。徹定はこの晩菘の発願に感動し、同寺に五百羅漢堂の本尊としてこの阿弥陀三尊模写像を寄贈したのであった。

当時すでに、オリジナルの金堂壁画は相当傷んでいたと思われるが、当模写では欠損した部分も復元的に描き起こしている。紙本に、比較的早くして細い墨線で描き、オリジナルの特徴を丁寧にとらえようとしており、要所に着色を施し、全体に鮮やかな画面となっている。三尊の顔などの肌の部分と着衣には、金堂壁画の描法の特徴にみられる、濃淡によって隈取りに階調を持たせた彩色法が再現されている。

その制作の具体的な方法を推測して見ると、おそらく壁画に薄い紙をあて、大まかな線を写し取り、つぎに細部を写生して下図をつくり、その下絵を元に描いたと思われる。

下書きの痕跡がまったく見あたらないのはこのためと考えられる。またこのように写し描く作業を繰り返せば、三尊像を写し取ることが主な目的になるので、画面の主要なものほかは次第に省略される傾向が起ころうことは容易に想像できる。実際三尊の像容以外では省略されている点も少なくない。

明治以後いく度か行なわれた金堂壁画の模写事業は、それぞれ明確な目的の下に実施された。

明治二十八年（一八九五）、帝室博物館がおこなった、古美術名作模写模造事業では、下村観山、横山大観、菱田春草らは奈良、平安、鎌倉時代の仏画の模写を制作、法隆寺金堂壁画十二面は桜井香雲がその模写を担当している。それらは帝室博物館が買い取り所蔵品と

した。

その後では鈴木空如が東京美術学校を卒業後、明治四十年(一九〇七)から昭和にわたり約二十六年かけて数十回にわたって法隆寺に通い壁画を模写した。この模写は現在、個人蔵となっている。

これらの模写はいずれも臨写と称されるものである。現状復元模写が本格的におこなわれることになったのは、昭和九年(一九三四)に発足した法隆寺保存協議会による解体大修理の際である。

昭和十四年(一九三九)、壁画の模写計画が立てられ、翌十五年より模写事業が始まった。この時は、日本画家の荒井寛方、入江波光、中村岳陵、橋本明治、吉岡堅二らが参加している。壁画の原寸写真をコロタイプ刷りした下絵に、壁画を見ながら描き、入江波光はコロタイプ刷りの上に面紙を重ねて描く「上げ写し」で描いている。

この事業は戦争のため一時期中断し、昭和二十二年(一九四七)に再開されたが、模写事業は未完のまま、壁画は同二十四年(一九四九)に焼失した。

昭和四十二年(一九六七)、金堂壁画再現事業が進められることになり、安田鞞彦、前田青邨、橋本明治、吉岡堅二らによつてふたたび模写がおこなわれる。焼失前の印象をできるだけ再現しようという、現状復元模写として制作されたものであった。これは昭和十四年(一九三九)と同様に、写真をコロタイプ版にしたものを和紙に刷り、その上に描くという方法で行なわれている。

模写は制作目的により方法も異なり、現在判明している法隆寺金堂壁画の複製に関して見るだけでも、制作環境のさまざまな条件や動機の多様さがよく分かるが、徹底は模写した「阿弥陀浄土変相図」を表装し、壁に掛け、香を焚いて礼拝の対象にしており、「法隆寺金堂

壁画佛像記) 当模写本は金堂壁画の現存最古の模写であるとともに、礼拝のためという特殊な製作動機をもった模写としても、注目すべき作品と考えるものである。(金井杜男)

〈注〉

- 1 法量 中幅 縦 二五五・〇cm 横 一四〇・五cm  
左右幅 各縦 二〇四・〇cm 横 八三・五cm